

北海道における栗樹

川村英五郎

はじめに

栗は他の果樹にくらべていろいろな特色がある。樹は土質を選ぶことが少なく、傾斜地でも栽培が容易であり、結実するまでの期間が短く、病害虫に侵されること少なく、栽培管理にはあまり労力を必要としない。果実は輸送、貯蔵ともに容易で、菓子及び料理用として利用面が広い等、有利な点が多いので、近年用材としてばかりでなく、果樹として農家の自家用あるいは副業として栽培を希望する向が多くなつてきている。

栗の種類

栗には日本栗、歐洲栗、朝鮮栗などの種類があるが、わが国の気

第一表 本道中部地帯における在來樹の特性(昭和二十六年度調査)

番号	所在地	來歴	熟期	樹齡	幹周(地上)	推定収量	寒害の少
23	同	右今	北	十一年	〇四三	中	少
22	兵庫農試	寄	北	十一年	〇四三	中	少
21	美唄市	右	〇九七	十一年	〇四三	中	少
20	同	右	〇九七	十一年	〇四三	中	少
19	余市町	新	〇九七	十一年	〇四三	中	少
18	美唄市	不	〇九七	十一年	〇四三	中	少
17	手稲町	本	〇九七	十一年	〇四三	中	少
16	琴似町	朝	〇九七	十一年	〇四三	中	少
15	同	右	〇九七	十一年	〇四三	中	少
14	余市町	丹	〇九七	十一年	〇四三	中	少
13	札幌市	同	〇九七	十一年	〇四三	中	少
12	音江村	不	〇九七	十一年	〇四三	中	少
11	美唄市	美	〇九七	十一年	〇四三	中	少
10	大江村	不	〇九七	十一年	〇四三	中	少
9	富良野町	同	〇九七	十一年	〇四三	中	少
8	神居村	納	〇九七	十一年	〇四三	中	少
7	山部村	丹	〇九七	十一年	〇四三	中	少
6	同	右	〇九七	十一年	〇四三	中	少
5	美唄市	九	〇九七	十一年	〇四三	中	少
4	同	右	〇九七	十一年	〇四三	中	少
3	同	右	〇九七	十一年	〇四三	中	少
2	琴似町	不	〇九七	十一年	〇四三	中	少
1	上富良野町	旭	〇九七	十一年	〇四三	中	少

第二表 本道中部地帯における栗の在來種果實の特性

番号	果形	色沢	平均重量	座の大小	果肉の色	甘味	渋皮の多寡	品質	果實のシキ	備考
23	稍扁	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
22	扁	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
21	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
20	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
19	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
18	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
17	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
16	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
15	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
14	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
13	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
12	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
11	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
10	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
9	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
8	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
7	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
6	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
5	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
4	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
3	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
2	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三
1	同	淡褐色	五五	小	淡	易	多	中	良	四八三

備考 番号は第一表の番号と一致する

候に最も適しているのは芝栗から改良された日本栗であつて、歐洲栗は夏雨の多いわが国では全く栽培を望み得ない。朝鮮栗は一名支那栗とも呼ばれ、必ずしもわが国の氣候に適合しないが、最近わが国の氣候に適するものも改良されて来たので、甘味が和二十七年年度統計課調によれば、二十一

強く、渋皮の剥がれ易い性質があるので、一般には大きな関心が持たれている。

本道における栗栽培の現況

現在道内における栗の集団栽培面積は昭和二十七年年度統計課調によれば、二十一

町三反であつて、その栽培地域は釧路、根室、宗谷、網走を除く各支庁に亘つてゐる。これらの栽培種は芝栗及び丹波系統の日本栗の実蒔きによるものが大部分であつて、まれに朝鮮栗の実生が見られ、接木によるものは極めて少ない。したがつて生産される果実はその形状も品質もまちまちで、品種名らしいものもなく、奨励すべき品種も確立されていない。現状のままでは生産された果実も市場価値に乏しいし、且つ安定した栽培を期待することができない。しかるに最近道が府県において好評を博している利平栗、日の春一号、岐阜一号等を導入して栽培を奨励しており、これらのものから本道に適する優良品種が見出されるものと期待されるのであるが、道内においても各地の実生樹の中に相当品質のよいものがあるので、當場では昭和二十六年に本道中部地帯向きの優良品種を選定するための参考資料として上記地帯の既存実生樹について、特性調査を行つたが、その結果を表示すれば、第一表、第二表の通りである。

以上の調査は人員予算の関係で十分とはいひ難いが、早熟種として2、3、5番が、中熟種として15、16、18番が有望と認められた。就中2、5番は早熟種で果重がそれぞれ平均二十瓦、十八瓦で、兵庫産銀寄に迫る大きさを示している。これらはいずれも多胚であるが、果粒の大きいことと、熟期の早い点で有利であろう。16番は朝鮮栗で、果実は小さいが、品質が良好であり、また昭和二十六年は一般に栗の熟期の遅れた年であるが、十分に成熟した点からも適

品種と認めることができた。

なお今回調査の対象となつた栗樹について、第一表に見られるように、多くのものは大なり小なり枝先が枯れる程度の寒害を蒙つてゐる。この点については、今後さらに耐寒性のある品種の選抜と育成に努めることが望まれる。

また熟期の甚だしく遅れるものは果実の肥大が不十分で、年により未熟のまま収穫する結果となるから、北部に向うほど熟期の早晩に十分注意を払うことが必要である。

(北海道農業試験場・技官)

記念植樹を致しましょう!!

行幸記念に、郷土の美化に、記念植樹を行うことは誠に有意義なことであり、また永くくわゆるわしい事業として輝くことでありましょう。

当社は植樹用に適当した大小各種の花木をいろいろ準備致し皆様の御用命をお待ち致しております。

- つじ 各種大小色々
- 蝦夷山櫻 径自二分至一寸色々
- ななかまど 同 右
- 栃の樹 自三尺至七尺
- その他

生垣用苗松大量販賣

生垣にはいろいろありますが、本道に適し、生長早く、安価でまた美しい生垣はえぼたでしょう。

弊社はえぼたの苗木を大量生産致し皆様の御用命をお待ちしております。

- 二年苗 十本 八十圓
- 百本 六百五十圓
- 千本 五千圓

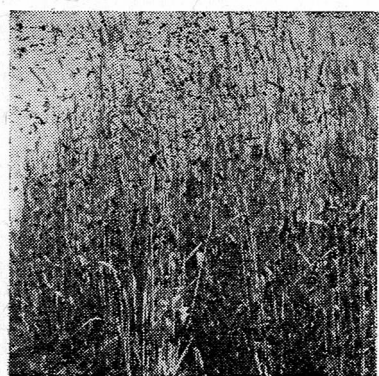
雪印の改良青刈麥類品種解説

青刈用ライ麦優良種

ペトクラーザ純系一八五

ライ麦は麦類としては稀な他花授精作物で、このため多くのライ麦は非常に雑駁なものとなつて、生産力の低下を來している。弊社上野幌育種場ではライ麦の優良品種ペトクラーザの中より、更に青刈として優良な純系一八五の増殖を行つてゐる。即ちペトクラーザ純系一八五は耐寒性最も強く、耐湿性にも富み、伸長大で、多収、その特性から次の場合の栽培利用を御奨め致します。

- 1 従来ライ麦より一層耐寒性を必要とする地帯
 - 2 晩生で硬化が遅いから、在来ライ麦と、燕麥の中間に利用せんとする場合
 - 3 水田裏作等のやや湿気の多い処に栽培せんとする場合
 - 4 多収を希望する場合
- なおライ麦の青刈栽培にはヘヤリーベッチ、赤花豌豆またはコンモンベッチとの混播が有利である。



ライ麦ペトクラーザ 185

温暖地向秋播用

青刈燕麥優良種「雪印一〇一號」

秋播用青刈燕麥優良種雪印一〇一號(原名R六六二〇)は弊社上野幌育種場並びに千葉農場が長年連年試験の結果、約六〇〇品種の燕麥より選出に成功した耐寒(耐寒性の最も強いといわれるライ麦程度)多収、多収、晩生の青刈用燕麥の優良種である。その特性から次の場合の栽培利用を御奨め致します。

- 1 秋播燕麥限界地帯附近で、従来品種では冬枯れの発生する地帯
 - 2 従来燕麥よりも更に晩期に刈取り、利用しようとする場合
 - 3 秋早播きして年内に一度刈取り利用し、再生を早春に利用する場合
- (従来燕麥では、秋早の早播きは冬損のため殆ど枯死してゐた)
- なお青刈燕麥にはコンモンベッチ、赤花豌豆またはヘヤリーベッチとの混播は一層収量、品質の向上が期待出来る。

試作用種子分譲

今回解説発表致しましたペトクラーザ一八五及び青刈燕麥優良種「雪印一〇一號」はいずれも現在原種の増殖中でありますので、大量販売するだけの数量がございませんので、特に希望者に限り試作用種子を分譲しておりますので早目に御申込み下さい。御試作の方は栽培所見を当方へ寄せていただけは幸甚であります。

- ライ麦ペトクラーザ一八五 試用小袋 五〇圓
- 青刈燕麥優良種「雪印一〇一號」試用小袋 五〇圓